

第2回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第2回は11月8日（水）に「他害や暴言など行動に特徴を抱える生徒の理解と指導」というテーマで、本校職員の鈴木 明仁教諭を講師に実施しました。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- 暴力や暴言になるきっかけや探り方等を知ることができた。
- 基本的なことだが、複数の視点で関わるほうが多角的に見ることができることが分かった。
- 見通しをもつことの大切さを改めて感じる事ができた。
- 特性のある子への関わり方や子どもの気持ちを理解する重要性を感じた。
- 見通しや終わりの提示、授業の流れの反復などは、子どもの安心につながるのだと思った。
- 外的・内的・心理的要因全てで考えていくことの大切さを学べた。
- 他害や暴言を困った行動として捉えるのではなく、本人の「不安」「適切な行動の表し方を知らない」ということの出発点だと見方を変えることが大切なのだと感じた。
- 何がそうさせているのかという背景に目を向けることの大切さを学べた。



次回のミニセミナーは、1月17日（水）16：00からです。「特別支援教育(知的・情緒)における自立活動の指導事例紹介」というテーマで、県特別支援教育センター職員の遠藤 孝太郎様をお招きして講演をいただきます。お申し込みは随時受け付けておりますので、ぜひご参加ください。